

- 【日 時】 平成 26 年 3 月 27 日
【訪問先】 金沢小学校 坂本昌彦校長先生
【概 要】 児童数 481 名 17 学級 1,5,6 年生 3 学級 2,3,4 年生 2 学級
特別支援学級 2 組 職員数 28 名

【視察報告】

1、校長先生のモットー

『創り出せトゥモロー、私はチャレンジャー』明日を創るのは自分、挑戦するのも自分。過去は変えられないが、未来は自分で変えられる。

2、英語・国際教育の取り組み

今年度は外国籍児童が 5 人未満となるため、昨年度まで開講していた国際教室を閉講。(横浜市の規定による)日本語が不自由な子供たちはすぐに話せるようになるので、昔は地域ボランティアを活用していたが、今は AET と担任だけで対応できている。

3、地域のボランティアの協力

総合学習の一環として、八景島シーパラダイスに協力してもらい、のりの植え付け・収穫を行っている。子供たちの登下校は子供会の方がしてくれている。

4、地域との防災の取り組み

称名寺と西柴スポーツ広場を避難場所として、交互に避難訓練を実施している。災害発生時にどちらの避難場所がより適しているかの判断根拠となる科学的なデータを集めることが課題。

5、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

道徳の成績評価は基準が明確でない。授業だけで教えられるものではなく、普段の学校生活の中で協調性を意識させることが重要。

6、体力強化や部活動の取り組み

水曜日だけ登校時間を早め、朝の時間に地域の方と外遊びをしている。「金小いきいきスポーツクラブ」と題して、サッカー・ラグビー・バスケ・ロードレースなどを通して、運動の楽しさを学ぶ機会を設けている。

7、学校組織の強化・人材育成

若手の先生の不安を取り除くため、研修の回数を増やしている。ベテランの先生と若手の先生では「当たり前」が違うことを互いに意識し、学校全体としてのベクトルを定めることが大切。

8、その他

地域の方・PTA・子供たちが協力して、学校創立 140 周年記念キャラクター「かなじい」を作成した。また、関東学院の学生が授業のサポートをしにきてくれている。



【所感】

スポーツを通して、地域との交流・子供たちの体力強化を図っている様子がうかがえた。また、八景島シーパラダイスに協力してもらいのり作りを行うなど、地域・周辺環境をうまく活用していると感じた。